

がけて、たして、  
ひいて、わって

2.13<sup>Thu</sup> — 2.17<sup>Mon</sup>  
10:00-18:00

秋田県立美術館

〒010-0001  
秋田市中通1丁目4-2

秋田市文化創造館

〒010-0875  
秋田市千秋明徳町3-16

秋田市にぎわい交流館AU

〒010-0001  
秋田市中通1丁目4-1

秋田公立美術大学サテライトセンター

〒010-0001  
秋田市中通2丁目8-1 フォンテAKITA 6階

最終入場 17:30

初日開場 | 13:00から

最終日閉場 | 17:00 (入場16:30まで)

入場無料 admission free

秋田公立美術大学  
卒業・修了展2025

がけて、たして、  
ひいて、わって



# タイムテーブル

2.13 thu  
13:00~13:30

## オープニングセレモニー

にぎわい交流館 AU 1階にて、オープニングセレモニーを行います。主催者代表・学長の挨拶などを予定しています。

### イベント 秋美+スペシャルゲスト 公開講評会

国内外で活躍されているゲスト講師をお招きして学生の研究発表を行う『講評会』を開催します。

それぞれの研究成果の発表を行い、発表を受けてゲスト講師から講評していただく対話形式の一般公開の講評会です。

どなたでもご自由にご鑑賞ください。

会場：秋田県立美術館 秋田市文化創造館 にぎわい交流館 AU  
※講評する作品の展示場所に合わせて会場を移動します。

2.14 fri  
14:30~17:30



塚本由晴

アトリエ・ワン／東京科学大学大学院教授、博士（工学）  
1965年神奈川県生まれ。1987年東京工業大学工学部建築学科卒業。1987～88年パリ・ベルビル建築大学。1994年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。貝島桃代と1992年にアトリエ・ワンの活動を始め、建築、公共空間、家具の設計、フィールドサーベイ、教育、美術展への出展、展覧会キュレーション、執筆など、幅広い活動を展開。ふるまい学を提唱して、建築デザインのエコロジカルな転回を推進し、建築を産業の側から人々や地域に引き戻そうとしている。2022年 Wolf Award Architecture Laureate 受賞。

2.15 sat  
10:00~14:00 (昼休憩 1h)



原田祐馬

大阪府吹田市出身。京都精華大学芸術学部デザイン学科建築専攻卒業後、インターメディアム研究所 7期生として入学。2005年まで在籍。アーティストの椿昇に師事し、2007年、UMAdesign farmを設立。どく社共同代表。名古屋芸術大学特別客員教授、グッドデザイン賞審査委員、花園近鉄ライナーズコミュニケーションディレクター、DESIGNEAST実行委員会など。たんぽぽの家の播磨靖夫理事長から「領域を横断してプロジェクトを横串にし、ガラガラぼんするデザイナー」と言われたことがきっかけでその意識を持ち活動を続けている。フィールドワークと現場を大切に日本中を移動する。愛犬の名前はわかめ。

大学院  
主催

13:00~18:00 会場：秋田公立美術大学サテライトセンター 秋田市文化創造館 にぎわい交流館 AU



地主麻衣子

アーティスト  
個人的な物語をテーマとしたドローイングや小説の制作から発展し、映像、インスタレーション、パフォーマンスなどを総合的に組み合わせた「新しいかたちの文学的体験」を創作する。主な個展に「MAM プロジェクト 031:地主麻衣子」(森美術館、東京、2023年)など。



檜山真有

キュレーター／リクルートアートセンター  
1994年大阪生。2023年よりリクルートアートセンターにて勤務。近年のキュレーションに光岡幸一展「ここには危険がいっぱい」(越後妻有里山現代美術館 MonET、新潟、2024-5)、田中藍衣個展「リパーストリング」(同左、2024)、雨宮庸介個展「雨宮宮雨と以」(BUG、東京、2023)など。

2.16 sun  
14:30~17:30



地村洋平

東京藝術大学ガラス造形研究室テクニカルインストラクター東京藝術大学にて鑄金を学んだのち、富山ガラス造形研究所や PIICHUCK CLASS SCHOOL でガラスについて学ぶ。その後、東京藝術大学にて博士号を取得し、卒業後は同大学ガラス造形研究室で働きながら表現活動を行っている。ガラスをメインに金属やプラスチックなどの異素材と組み合わせ、刻やインスタレーション作品などで多様な表現を試みている。

2.17 mon  
13:45~15:45

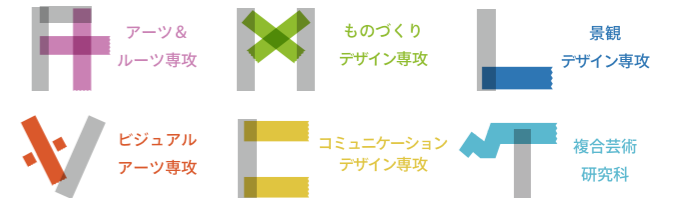
## 秋美+美大附 ギャラリーツアー

学部生により、秋田公立美術大学附属高等学院生を対象に作品を鑑賞するツアーを行います。

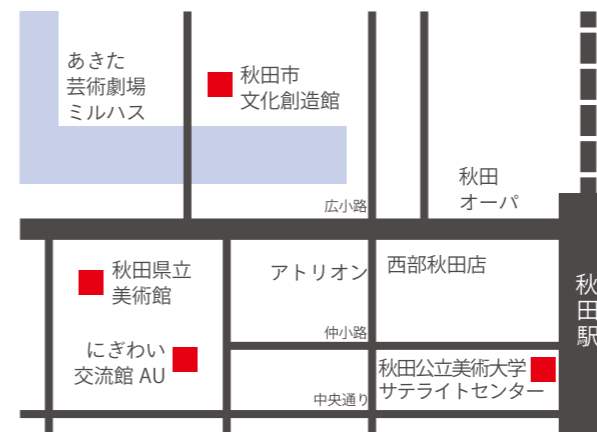
一般公開していますので、学外の方もぜひご参加ください。

「表現に節目はあっても限りはない」という意味から「かける、たす、ひく、わる」を記号のみならず色々な意味に捉えることができる」という想いを込めて全てひらがなにしています。また、記号を破くことで、型にとらわれず自由に制作してきた制作者たちの様子を表現しました。「卒業・修了展示というひとつの節目において、様々な手法が絡み合って紡ぎ出された作品達を思い切りよく、自由に表現できる機会であるように」という意味をテーマとポスターに込めています。

がけて、たして、ひいて、わって



## 会場



## 企画

秋美 × カフェ光風 卒展コラボカフェ  
2.13~17 10:00~18:00 (ラストオーダー 17:30)

秋田県秋田市中通1丁目4-2 秋田県立美術館 2F Museum Cafe&Shop 光風  
卒業・修了展期間中、カフェ光風のメニューが学生作品によって提供されます。同時にカフェ内で学生作品を販売しております。



お問い合わせ | 秋田公立美術大学 学生課  
018-888-8105 (平日 8:30-17:15)  
[note] [https://note.com/akibi\\_2025/](https://note.com/akibi_2025/)  
[X(Twitter)] <https://x.com/AUAsotsuten2025>

主催：秋田公立美術大学卒業・修了展 2025 実行委員会 / 秋田公立美術大学  
後援：秋田市 / 秋田魁新報社 / NHK 秋田放送局 / ABS 秋田放送 / AKT 秋田テレビ / AAB 秋田朝日放送局 / CNA 秋田ケーブルテレビ / あきびネット